



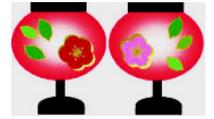
第192号

平成27年3月1日

小松市史編纂事務局

へんさんだより

市史へんさん



3月に入り、春の訪れが楽しみな一方、4月に向け、あわただしい毎日をお過ごしのことと思います。3月3日はひな祭りですが、まだまだ寒い日が続き、小松では、4月3日まで雛人形を飾る家も少なくありません。さてご自分の家はどちら派ですか？

さて、2月8・15日に古文書講座が開催され、両日とも、多くの方にご参加いただき、皆様の熱心さが伝わりました。少しでも古文書を読み解く力がついたのでないかと願っております。

古文書講座 講師：袖吉正樹 金沢市立玉川図書館担当館長補佐

「小松の町役人」 2月 8日 参加者 57名

「安宅町の諸相」 2月 15日 参加者 56名



講師：袖吉正樹氏

「小松の町役人」(2月8日)

永甫家文書から、9代目永甫屋平左衛門に関する文書を取り上げました。平左衛門は、寛政9年(1797)に16歳で、町役の定番役肝煎見習いに就任し、その3年後に定番肝煎役、59歳でようやく町年寄次列に就きます。75歳になると、極老(数十年勤める)につき、出勤せずとも役料銀子は貰えるというその事実を示す文書を、くずし字の特徴を押さえながら読み解きました。

「安宅町の諸相」(2月15日)

安宅町文書より、船頭として働くため、他国へ行きたいとの願書や醤油を他国に売り出したい願書、松木を切り出してよいかの願書など算用場や町会所に許可を願う文書を読み解きました。願書の始めに、「聞届」という印が押してあれば、願いが聞き入れられたことになり、また、願書の返書は、願書の裏面、もしくは割印を押して紙を貼付けて書く場合もあるということが豆知識として教わりました。



会場：小松市公会堂

☆古文書を読むポイント☆

- 文体の特徴に慣れる
 - その時代の用語・固有名詞・表記の仕方などを知る
 - 字典の活用
- ※ 辞書に載っているくずし方が全てではありません。

アンケート結果 (2月8・15日合計)



♪講座はいかがでしたか？

- ・ほぼ理解できた 36人
- ・勉強になった 34人
- ・分かりやすかった 30人

♪どんな古文書を学びたいですか？

- ・近世文書 17人
- ・中世文書 15人
- ・手紙文 15人
- ・御用留 6人
- ・遊女の手紙
- ・「義経記」など小松に関する文学作品
- ・寺子屋に関する古文書

♪古文書から何を学びたいですか？

- ・くずし字を学びたい 28人
- ・変体仮名を知りたい 12人
- ・歴史の面白さ
- ・当時の生活の様子、祖先の様子
- ・観光地の石碑などを読めるようになりたい
- ・すらすら読めるようになりたい(読解力)

【ご要望・ご希望】

- ・初めての入門コースを開講してほしい
- ・講座の開催回数を多くしてほしい、月1回
- ・江戸時代の諸相、実態を良く知りたい
- ・時代背景の説明もしてほしい

お知らせ

今回の古文書講座の資料が残っています。
ご希望の方は資料をお渡しいたしますので
市史編纂事務局までお越し下さい。

<事務局2月の活動状況>

- ・ 2月 8日(日) 古文書講座
- ・ 2月 9日(月) 近世村方部会
- ・ 2月 12日(木) 美術作品調査(芳春院)
- ・ 2月 15日(日) 古文書講座
- ・ 2月 21日(土) 寺院彫刻調査(市内3ヶ寺)
- ・ 2月 26日(木) 繊維関係調査
- ・ 2月 26日(木) 産業部会

<事務局3月の活動予定>

- ・ 3月 1日(日) 古文書講座
- ・ 3月 5日(木) 狛犬調査(下呂市)
- ・ 3月 19~21日 森家文書調査(能美市博)

<3月のカレンダー>



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。

市史編纂担当(小松市教育委員会生涯学習課)

- ・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91
- ・TEL 0761(24)8274 ・FAX 0761(23)3563
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

